

指定管理施設事業評価票(令和2年度分)

1. 施設所管課 **観光経済部 藤原観光課**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市上三依水生植物園									
	所在地	日光市上三依682番地									
指定管理者	名称	有限会社 山加園									
	代表者名	代表取締役 柏木 栄									
	住所	日光市柄倉736番地									
指定期間	平成28年4月1日 ~ 令和3年3月31日								5 年間		
選定方法	公募				評価実施年		5 年間のうち		5 年目		
施設設置目的	観光の振興を図り、地域の活性化を推進するとともに自然環境を保全し、及び育成することで人と自然との触れ合いの場を創出する。										
主な実施事業	日本の典型的な植物モデルの設置、公開及び解説事業 植物に関する資料の収集、保管および展示事業 その他管理運営に必要な事業										

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a 来場者数	人	17,500	15,329	17,500	18,946	19,510	14,561	18,500	14,033	15,500	6,006
b 事業実施回数	回	16	14	18	16	17	15	17	15	17	1
c 研修会の参加率	回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
d											
e											

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入計 A	12,853,260	14,694,220	12,770,330	12,635,600	10,873,740
指定管理料	5,770,000	5,770,000	5,770,000	5,877,000	8,023,168
利用料収入 C	6,144,260	7,757,190	5,921,310	5,638,760	2,227,840
自主事業収入	939,000	1,167,030	1,079,020	1,119,840	398,900
その他					223,832
支出計 B	12,847,394	14,682,829	12,740,501	12,628,100	10,862,037
指定事業費	11,573,082	12,847,046	11,238,603	11,214,937	10,336,242
内人件費 D	7,162,375	6,817,306	7,150,497	7,052,087	7,280,984
内外部委託費 E	83,400	78,000	78,000	78,000	137,000
自主事業費	1,274,312	1,835,783	1,501,898	1,413,163	525,795
事業収支 A-B	5,866	11,391	29,829	7,500	11,703
人件費率 D/B	55.75%	46.43%	56.12%	55.84%	67.03%
外部委託比率 E/B	0.65%	0.53%	0.61%	0.62%	1.26%

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明  
草花の獣害保護のために防護柵設置で対応していますが、熊鹿等の園内侵入跡があった為、関係担当課や地元猟友会の協力で植物園周辺地域にワナ設置などの駆除対策実施した。施設直近を流れる尾頭沢の大雨による氾濫が近年発生しているため恒久的対策や、温暖化の影響に対する山野草の植栽及び猛暑時やコロナ禍など、発生時の来園者減少対策も継続的な課題となります。

サービス改善の状況

「植物育成環境の維持及び改善」をテーマに草花配置や増植を図りました。ホームページ・新聞社・栃木TV・市広報誌などを活用しての開花情報の提供の結果、ホームページ閲覧数も増えて知名度もアップしました。また「ライブカメラ」による草花の紹介ができることで、問い合わせ数も増えていると考えられる。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B B B	A A B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B B	A B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	A B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	A B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	<b>「業務の実施体制」に関する評価【17項目】</b>		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	A B	A B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B A B	B A B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	A B B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B B B	A B B
	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	A
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A B	A B
	利用者アンケート 利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。 利用実績は、目標水準である。	B B	B B
総括	<b>「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】</b>		B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	C
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	<b>「経費の収支等」に関する評価【4項目】</b>		B	C
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) 新型コロナ禍によって休園期間(4~5月末)や都府県の移動自粛等により、入園者数が対前年比約39%と激減しました。交通機関・ホームページを主として、 新聞社(下野・朝日・読売)及びとちぎテレビなどのメディアや市広報誌を通じての情報発信、また宿泊施設・地元観光施設等の関連事業所に対し、 定期的に関花情報を提供して水生植物園の知名度浸透と集客を目標に継続実施し来園者数の確保に努めました。 新型コロナウィルス等感染防止対策として、三密防止策・手洗い励行・消毒液設置増・入園者及び職員のマスク着用などの徹底を図りました。 (所管課評価) 引き続き、利用者の利便性の向上及び新型コロナウイルス感染症対策について、より一層の細やかな対策を望む。 経費削減に努めており、自主事業も積極的に実施していることから、今後も継続して利用者拡大に努めてほしい。			
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		